

## 平成28年度 高山市議会『議員活動』の評価

評価期間

平成27年5月1日～平成28年12月21日

評価実施者

氏名 中田 清介 議員期数 5期 所属常任委員会 文教産業委員会

評価日

平成28年12月28日

評価

◎：「十分達成できた」 ○：「概ね達成できた」

△：「達成できない部分が多くあった」 ×：「できなかった（取り組まなかった）」

| 主要評価項目   | 評価 | 評価理由  | 課題  |
|--|----|---|---|
| 1. 市民の代表として市民の意見を的確に把握できたか                       | ○  | 分野別、地域別市民意見交換会に積極的に参加。個別市民意見についてもできるだけ把握できるよう対応した。                                  | 様々な意見を幅広く聴取した上で、政策協議の中では優先順位を付け決定を下す力を養う事も必要。           |
| 2. 地域や団体等の個別事案だけではなく市民全体の福利の向上をめざして活動できたか        | ○  | 地域や団体の代表にとどまらず、広く市民の代表という立場での活動を心がけた。是々非々の立場での審議・審査に取り組めたと思う。                       | 市政全般を俯瞰して活動できる深い洞察力をもっと養う必要がある。                         |
| 3. 市政に関する調査研究に積極的に取り組むことができたか                    | ◎  | 委員会調査、会派視察調査、政務活動費を利用した個別調査に積極的、精力的に取り組んだ。その情報公開についても積極的に推進した。                      | 課題設定段階での、議員間での協議をより充実する必要がある。チーム議会の一員として協働することも意識したい。   |
| 4. 適切な意思決定や政策提言等の妥当性や説得力を高めるため、議員間の自由討議を積極的に行えたか | ○  | 多くの案件で自由討議に加わった。協議事項でもその是非について表明し、政策協議を整えることに努力した。                                  | 結果としての継続審議、継続協議や、予算の組み替え等にも道筋をつけること。                    |
| 5. 議会審議では、7つの論点情報を明らかにできたか（明らかにするよう求めることができたか）   | ○  | 議会基本条例に定めた議会改革の主要な柱の一つ。政策の発生源をとらえるのに最大限留意したが、行政の対応は今一つ誠実ではなかった。                     | 審議審査でも自由討議でも、政策協議の段階においても常に基本となる事項。このことをもっと意識して臨むことが必要。 |
| 6. 政務活動費の性格や交付の方法を理解し、適正に活用できたか                  | ◎  | 適正に活用できたと思っている。視察調査活動、参考文献などの入手、セミナーへの参加など許される範囲で十分に活用させていただいた。                     | 地方にあっては情報収集に工夫をしなければ、交通費が大きな負担となってしまう。                  |
| 7. 議案審査や政策提言に必要な能力等を向上させる研修会等に積極的に参加できたか         | ◎  | セミナーや研修会にも積極的に参加できた。又その成果を議案審査や一般質問等に活用できた。   | 政策課題や調査活動の充実に、議員間でもっと自己研鑽への意識を高めることが必要。                 |
| 8. 調査研究に資するための議会図書室の活用はできたか                      | ◎  | 議会図書館も大いに活用させていただいた。特に日経グローバルや、ガバナンス等の政策情報誌は積極的に利・活用した。又、個別の単行本についてもおりに触れ読ませていただいた。 | 欲を言えば図書室としての設えに工夫があると良いと思っている。                          |
| 9. 公正、誠実、清廉を基本とした厳しい倫理意識に徹して活動できているか             | ○  | 自分としてはその様に活動できたと思っている。  | 高山市議会基本条例に定めた活動指針が一つの倫理基準。今後ともその意識を徹底していきたい。            |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|